

一中文化発表会(+アジャタ大会)を開催しました①



2015
October 17

10月17日(土)に文化発表会が行われました。ピアノの連弾に始まり、ヒップホップダンスや吹奏楽部の演奏、書道部のパフォーマンスが繰り広げられました。続いてアメリカへの修学旅行を控えた2年生の発表。某人気番組を模したり現地の人に変装したりして「みんなの知らないアメリカ」を楽しく教えてくれました。次は3年生による演劇「Time Arc」の上演。飛龍祭後、限られた時間で、脚本・大道具・小道具・衣装もすべて自分たちの手で準備を進めてきました。当日も、照明・音響・舞台演出が一丸となって役者を引き立て、みんなで作品を作り上げました。「今の私達の小さな一歩が、よりよい未来を作る」ということを学び実践していく主人公の姿は、深く心に残るものでした。1年生は「砂漠化をいかにして食い止めるか」をテーマとした発表と、「ニュースを読むならインターネットか新聞か」を論題としたディベートを行い、新大学入試に必要なスキルの高さを披露しました。ステージに立った生徒はもちろん、惜しみなく拍手を送る全校生徒一人一人が輝いた一日でした。



3年生による演劇「Time Arc」



書道部パフォーマンス



吹奏楽コンサート



司会も進行もすべて生徒たちの仕切り



創作ダンス



大好評だったカリスマ教師の戸高先生(←生徒)



ディベート(1年生)



「みんなの知らないアメリカ」(2年生)②



一中文化発表会 (+アジャタ大会) を開催しました②



©MIYAZAKI DAIICHI
Unauthorized reproduction prohibited

※アジャタ (AJTA) とは?

全日本玉入れ協会 (AJTA: All Japan Tamaire Association) によって定められた競技規則に則り、100個のお手玉をいかに速く籠の中に入れるかを競う競技。

文化発表会のあとは保護者会主催のアジャタ大会でした。生徒と保護者が別々に班を編成し、本気で玉入れをします。「たかが玉入れでしょ」などと高を括ってはいけません。高さ4メートルのかごに100個の玉を入れるのは想像を絶するハードワークなのです! 試合終了後、保護者チームはへろへろ(笑)。

しかし生徒は元気いっぱいでした。特に、過去2回の経験を積み、体も大きくなった3年生は制限時間内に玉を全て入れるチームが続出。

毎年恒例となったこの行事ですが、これまでで最もハイレベルな優勝争いとなりました。大会終了後、生徒だけでなく保護者からも「楽しかった〜!」という声がたくさん聞かれました。翌日(翌々日?) 筋肉痛に苦しんだ方も多かったかも(笑)。



全員がクラスの威信をかけて一生懸命に投げ入れました!!



がんばるぞー!!



華やかな衣装?



クラスごとに思い思いのコスチューム(?)で結束